



世界遺産知床の自然と人とヒグマの暮らし

いとうあきひろ
伊藤彰浩

いとう
伊藤かおり作

しょうねんしゃしんぶんしゃ
少年写真新聞社

世界自然遺産に登録された、北海道東部にある知床半島。そこには、日本の陸上哺乳類で最も大きなヒグマが暮らしています。

ヒグマは植物や昆虫、くさった肉やサケなど何でも食べます。食べ物が少なくなる夏には、人が暮らす場所に現れ、ゴミや作物をあらすこともあります。そんなヒグマと人がともに安全に暮らすには、どうすればよいでしょうか。

自然と人との共存を考えるきっかけになる写真絵本。

